

クルマ/バイク模型の新常識?

外装パーツの接着には瞬間接着剤を使おう!

苦勞して作った完成品はいつまでもきれいに飾っておきたいもの。ところが、しばらくたってその完成品を見たら、きれいに継ぎ目消しをしたはずの接着線がうっすらと浮き出てきてる……という経験をしたことのある方も少なくはないはず。そんな悲しい思いをしないように、外装パーツの接着には瞬間接着剤を使いましょう

瞬間接着剤を使って、美しい模型をいつまでも

プラスチックパーツの接着にはスチロール樹脂用接着剤を使うのが普通。しかし、接着剤を完全乾燥させたつもりでも内部ではまだ溶剤分が揮発しきっていないなかったりすると、その部分が後からうっすらとヒケてくることもある。その程度のわずかなヒケなど問題にならない場合がほとんどだが、クルマ/バイク模型の外装パーツのようにピカピカに磨いたものは、表面に走るわずかな光の具合でそれが目に立ってしまい気になってしまうのだ。

そんなケースを避けるためにオススメなのが、外装パーツの接着に瞬間接着剤を使う方法だ。瞬間接着剤は硬化速度が早いうえに硬化後の安定性もよく、後からヒケてくることもなくてバテ代わりにも使えるというすぐれものなのだ。

さて、数ある瞬間接着剤のなかで、今回MG編集部がオススメするのが、コクヨの「レッドテック」。赤い色付きながら、光が

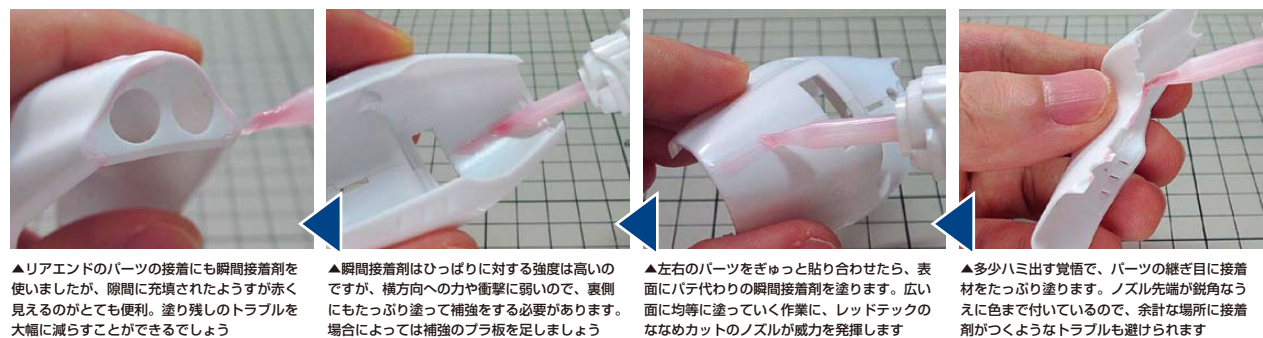
あたることで透明になるという特徴を持っている。接着剤としての性能は他製品とそう大きく変わりはないが、普通なら透明なはずの液に色がついていて見えやすいこととの利便さは一度使えばやみつきになるほどだし、太くて目詰まりしにくく、先端がななめカットにされているノズルの使い勝手も抜群。製作効率の向上も期待できる逸品なのだ。



こんな時に便利なのがコクヨの赤い瞬間接着剤 **RED TECH (レッドテック)!!**

瞬間接着剤 RedTech (レッドテック) 液状  
コクヨS&T 税別450円  
☎コクヨお客様相談室 ☎0120-201-594

▶ワンタッチでパチンとはまるフタ付きなので便利。ノズル先端が汚れているとまきはまらないので、余計な硬化カスはきれいに取り除いておきましょう



▲リアエンドのパーツの接着にも瞬間接着剤を使いましたが、隙間に充填されたようすが赤く見えるのがとても便利。塗り残しのトラブルを大幅に減らすことができますよう

▲瞬間接着剤はひっぱりに対する強度は高いのですが、横方向への力や衝撃に弱いので、裏側にもたつぷり塗って補強をすることがあります。場合によっては補強のプラ板を足しましょう

▲左右のパーツをぎゅっと貼り合わせたら、表面にバテ代わりの瞬間接着剤を塗ります。広い面に均等に塗っていく作業に、レッドテックのななめカットのノズルが威力を発揮します

▲多少ハミ出す覚悟で、パーツの継ぎ目に接着材をたっぷり塗ります。ノズル先端が鋭角なうえに色まで付いているので、余計な場所に接着剤がつくようなトラブルも避けられます

▲裏にタボのある箇所表側には、たいがいヒケがありますが、その修正にも瞬間接着剤を使います。瞬間接着剤にベビーパウダーのような粉を混ぜれば、大きなヒケにも対応できます

▲実験として、1分ごとに赤色が消えていくようすを見ました(実験にはゼリー状のものを使用しています)。紫外線の光を当てれば15分ほどで赤い色は消えて無色透明になりますので、塗装への悪影響はありません。ちなみに、色が消える時間と硬化時間はイコールではないので注意しましょう

